

図書館だより

No. 71

★11月の開館予定(変更になることもあります)

日	月	火	水	木	金	土	
					1 正○ 共◎	2 休館	
	11/9(土) 8:30~17:00 開館します						
3 休館	4 休館	5 正○ 共◎	6 正○ 共◎	7 正休 共◎	8 正○ 共◎	9 共△	
10 休館	11 正○ 共◎	12 正○ 共◎	13 正○ 共◎	14 正○ 共◎	15 正○ 共◎	16 休館 中・入試	
17 休館	18 正○ 共◎	19 正○ 共◎	20 正○ 共◎	21 正○ 共◎	22 正○ 共◎	23 休館	
24 休館	25 正○ 共◎	26 正○ 共◎	27 正○ 共◎	28 正○ 共◎	29 正○ 共◎	30 休館	

開館時間

正(正道館学習室) 共(共生図書館)

○7:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

ひらめき

世界卓球団体戦 2024 で50年ぶりに金メダルを獲得した日本。中国の孫穎莎選手に勝利した張本美和選手はこの試合で突然「戦略のひらめき」を感じ、実行した結果、勝利をつかんだそうです。読書の秋、このひらめきで本を選んでみてはいかがでしょうか。自分の気持ちに寄り添う本にきっとめぐりあえると思います。

☆ノーベル文学賞受賞 ハン・ガンさん

受賞理由は「歴史的トラウマに立ち向かい、人間の命のはかなさをあらわにした強烈な詩的散文」とあります。生まれた土地に蓄積された無念の死、封じられた声へ接近し、それを韓国一国でなく人類の経験として書ききったところに今回の受賞意義があると韓国文学翻訳者・斎藤真理子氏は述べています。各地で戦争が激化し、「毎日遺体が運ばれてくるのに何を祝うのか」とハン・ガンさんは言い、記者会見を固辞したそうです。そんな氏の詩的散文『すべての、白いものたちの』を読んでみませんか。静謐な文章の中に強い命への祈りが聴こえてきます。

☆新着本ピックアップ

『<弱いロボット>から考える』(岩波ジュニア新書 岡田美智男)

弱さを補い合い、相手の出来ることや強さを引き出す<弱いロボット>が、なぜ今、注目されるのか。



『脳のシステム・アーキテクチャー』(清野躬行)

『英語達人列伝』(中公新書 斎藤兆史)

新渡戸稲造、白洲次郎ら10人の英語マスター法をヴィヴィッドに紹介する本書は英語受容をめぐる日本近代史を描き出す。

『アーセナルにおいでよ』(あさのあつこ・著)

『正体』(梁井為人・著)



死刑判決を受けた少年死刑囚が脱獄。出会った人々の胸に鮮烈な印象を残しながら逃亡を続けるが、彼の正体とは?最後の2行に涙しない人は少ない。

『クリスティ書店の事件簿雪山書店と嘘つきな死体』(アン・クレア)

『新 謎解きはディナーのあとで2』(東川篤哉)

『シャーロック・ホームズの凱旋』(森見登美彦)

『春、出逢い』(宮田藍萌)

短歌甲子園出場を目指す高校文芸部が舞台。アイドル歌会で定評のある宮田愛萌が描く等身大の「31文字」に込める青春小説。

☆全国3万校以上が参加する「朝読書」

2023年度「朝の読書」多読書<高校の部>

『かがみの孤城』(辻村深月)

『君の臍臓がたべたい』(住野よる)

『告白』(湊かなえ)

『成瀬は天下を取りにいく』(宮島未奈)

『汝、星のごとく』(風良ゆう)

『ぼくはイエローでホワイトで、

ちょっとブルー』(レイティみかこ)

『また同じ夢を見ていた』(住野よる)

『ラブカは静かに弓を持つ』(安壇美緒)

『流浪の月』(風良ゆう)

文庫本

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

(汐見夏衛)

『天久鷹央の推理カルテ』(知念実希人)

『アルジャーノンに花束を』(ダニエル・キイス)

『小説 君の名は』(新海誠)

☆朝の読書推進協議会調べ